

議長通信

ひとめあ 一目上がり

皆さん、「一目上がり」をご存知でしょうか。これは古典落語で、「目が上がっていく」おめでたい断です。登場人物が各家を訪ね、ご隠居と掛け合う場面を少しご紹介します。

『ご隠居のところへ八が来て、掛け軸を褒めます。「いい掛け軸ですね」ご隠居は「これは、賛と言うのだ」次の家で八が「いい三です

ね」と褒めると、ご隠居は「これは、詩と言うのだ」次の家で八が「いい四ですね」と褒めると、ご隠居は「これは、語というのだ」と言われます。八は「何だ、一目ずつ上がっている。今度五と言ったら六と言われるからはじめから六と言おう」と考え、次の家で自慢げに「六ですね」と言うと、ご隠居が「これは、七福神だよ」と切り返した」という落ちです。

先を読むのも大切ですが、早とちりや読み違えがあれば、先に進むどころか後退しなければなりません。私たちの身の回りにも、「一石二鳥」「二人三脚」「三寒四

温」「四分五裂」「五臓六腑」など目が上がっていく言葉はたくさんありますが、先人も「一目上がり」の大切さを実感していたのでしょうか。

改選から一年が経ちました。私たち議員も住民の皆様の付託に応えるべく、現状にとどまらず日々精進し、前進していく所存です。

賛 画面の中に書かれた詩、歌文(俳句などが多く用いられた)「自分で描いた絵に「賛」を書き入れることを自画自賛という」

詩 漢詩

語 格言や高僧の金言等

すえっ子未来誌



作・田原ウーコ
1979年須恵町生まれ。イラストレーターとして福岡を中心に九州・東京の広告やエディトリアルにて活動中。 <http://polyworks.jp>

ぼた山開発推進協議会 報告



有効活用が期待されるぼた山

3町(志免・須恵・粕屋)にまたがる国鉄志免炭鉱ぼた山開発は、今後の活用に向けて、昨年、基本設計が完成し、工事を着工する方向で関係機関との協議が進んでいます。

展望台・山頂までの遊歩道・駐車場・公園等を計画していますが、最終的には、土壌や地盤、勾配等の詳細な調査を要するため、もう少し時間がかかる見込みです。

本会議傍聴のご案内

本会議は一般に公開されており、簡単な手続きで傍聴することができます。傍聴を希望される方は、本会議当日に役場4階議会事務局の窓口にお越しください。(予約不要)

議会を生でみてみよう!



なお、次の定例議会は6月13日からの予定です。

人権擁護委員 推薦

任期満了に伴い推薦され、再任に議会が賛成しました。任期は平成31年6月30日までです。

ひらしま みねはる
平嶋 峰晴氏
(藤浦区・69歳)

平成28年
2月9-10日

読んでもらえる紙面づくりを

2月9日に埼玉県寄居町(64.25km²、人口約3万5千人)、翌日には同県小川町(60.36km²、人口約3万1千人)を訪問しました。

両町は、県中央部で隣接し、ともに全国表彰など広報において素晴らしい評価を受けています。

委託業者が会議に同席するなど密接に関わり、吹き出しを使った臨場感や、本文中の強調文字によるナメ読み対策など、プロの技術を取り入れた制作方法をとられていました。

須恵町も、表紙部門では全国の奨励賞や金賞などの表彰を受けましたが、内容の充実をもっと図りたいと思っています。限られた予算内ですが、読んでもらえる紙面づくりに努力していきます。

広報特別委員会 視察研修



寄居町議会だより編集委員会の皆さんと



小川町議会での研修の様子

議会広報全国コンクール 金賞を受賞



須恵町議会だより193号

第30回町村議会広報全国コンクールにおいて「須恵町議会だより193号」が、金賞(表紙写真部門)を受賞しました。45都道府県262町村から応募があった広報紙の中から選考されたもので、二年連続の受賞(昨年は奨励賞)となりました。表紙の写真は、シリーズ「未来を担う子どもたち」と題し、須恵町の子どもに焦点をあててきました。『清々しい笑顔を見せる児童の表情をうまくとらえている。背景をぼかすことで、主人公がより強調。光沢紙の使用で撮影画像の色調などを、より忠実に再現』との評価をいただきました。取材や写真撮影にご協力いただいた皆さまに感謝します。

このメンバーで編集しました

